

令和元年11月15日

小千谷市長 大塚 昇一 殿

## 要 望 書

小千谷市議会

議長 田 中 淳

令和元年10月12日から13日にかけて、強い勢力を維持して上陸した台風19号は、各地で観測史上最多の降雨となり、東日本全体に記録的な豪雨をもたらしました。小千谷市においても暴風や信濃川が氾濫危険水位を超えたことにより、市民は不安な夜を過ごしました。土砂の流出や住宅の浸水、法面崩落の発生など、農地等をはじめ市域全体で深刻な被害が生じました。10月15日には、農業を考える議員の会としても要望書を提出いたしましたが、この災害から早期に復旧し、こうした被害を最小限に食い止め、今後の災害対策を一層充実させ、市民の生命及び財産を守るため、下記の事項について、対策を講じるよう強く要望いたします。

### 記

- 1 被害を受けた農地等に係る地権者負担金比率を軽減すること。
- 2 農地回復への早急な対策を講じること。
- 3 法面崩落災害を含む地滑り箇所を早急に復旧すること。
- 4 福祉避難所を含む避難所の体制・対応（生活弱者やペットを含む）の強化を図ること。
- 5 交通止め、交通止め解除等の迅速な告知及び情報伝達を強化すること。

以上